

# 景気動向調査

## 売上額、売上額見通しとも DI 悪化

### 調査概要

調査対象：県内中小企業 300 社

調査時点：平成 30 年 1 月集計

調査方法：アンケート調査方式（回収率 84%）

### 概況

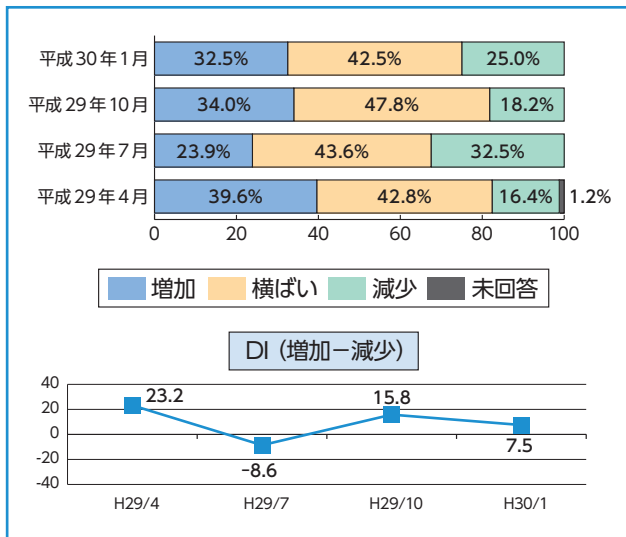
売上額のDIが前回調査（平成29年10月）の15.8から7.5に落ち込み、売上額見通しのDIも12.6から9.5に下がって、収益性に悪化の動きが見られる。販売価格では上昇、下降の割合がともに増えて横ばいが減り、改善と悪化の両方が起きている。資金繰りと採算でも同様で、企業によるムラが出ているようだ。ただ販売価格のDIは改善が続いており、収益の動向を注視する必要がある。

### 売上額

### DI 下降

増加回答が前回調査から1.5ポイント下がり32.5%となった。横ばい回答も5.3ポイント下降の42.5%。一方で減少回答が6.8ポイント上昇して25.0%だった。その結果、DIは前回の15.8から7.5に下がっている。減少が増加を上回ったのは全12業種のうち「輸送」「その他」「サービス業」の3業種だった。増加回答が多かったのは「鉄鋼・非鉄」「金属」「機械」「電機」「プラスチック」「ゴム」「繊維」「ソフトウェア」「卸売・小売業」で、「電機」が48%と半数近くに達し、「プラスチック」が56%と過半数を占めた。

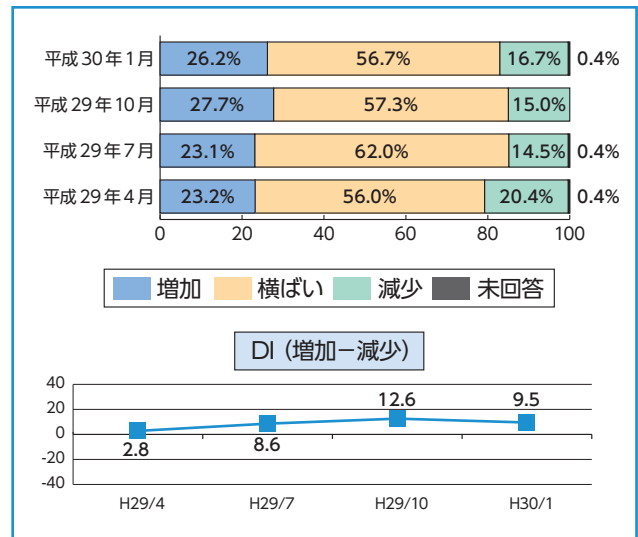
※DIは増加した企業から企業割合から減少した企業の割合を引いたもの。



### 売上額の見通しについて (3カ月位先)

### DI 下降

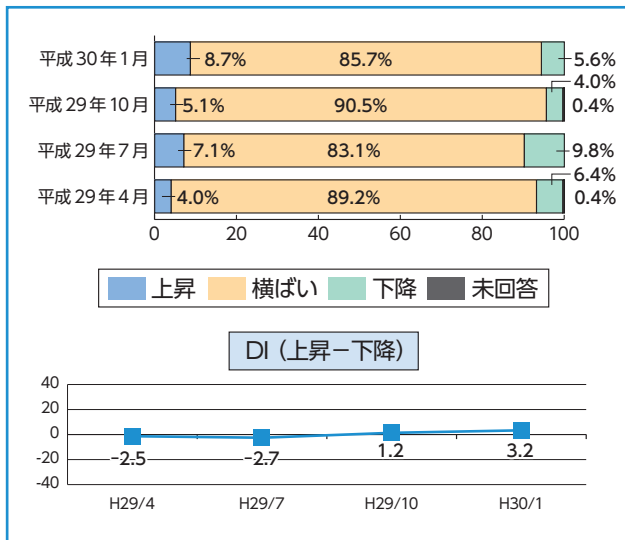
増加回答が前回調査から1.5ポイント下降の26.2%、減少回答が1.7ポイント上昇の16.7%となり、DIがわずかながら下がった。増加が減少を上回った業種は「鉄鋼・非鉄」「金属」「機械」「電機」「輸送」「プラスチック」「繊維」の7業種。その中でも「金属」は増加21%に対し減少3%、「プラスチック」が増加39%、減少6%、「繊維」で増加43%、減少14%と大きな差があった。「ソフトウェア」と「サービス業」は同比率となっている。減少回答が増加より多かったのが「ゴム」「その他」「卸売・小売業」で、特に「ゴム」は増加回答ゼロと厳しい見通しだった。



## 販売価格 (受注単価) について

### DI わずかに上昇

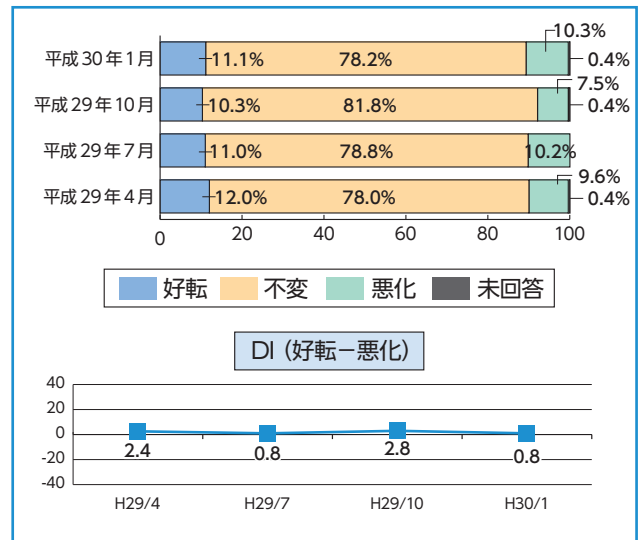
上昇回答が3.6ポイント上がり、下降回答が1.6ポイント上がって、DIはわずかながら上昇した。横ばい回答がほとんどを占める状況は変わらない。上昇回答が下降回答を上回ったのが「鉄鋼・非鉄」「機械」「輸送」「ゴム」「繊維」「サービス業」の6業種だった。同比率だったのが「電機」「ソフトウェア」「その他」の3業種で「ソフトウェア」は上昇、下降ともにゼロ。一方で「金属」「プラスチック」「卸売・小売業」は下降割合の方が多く、「プラスチック」は上昇回答がゼロとなっている。



## 資金繰り

### 悪化回答増える

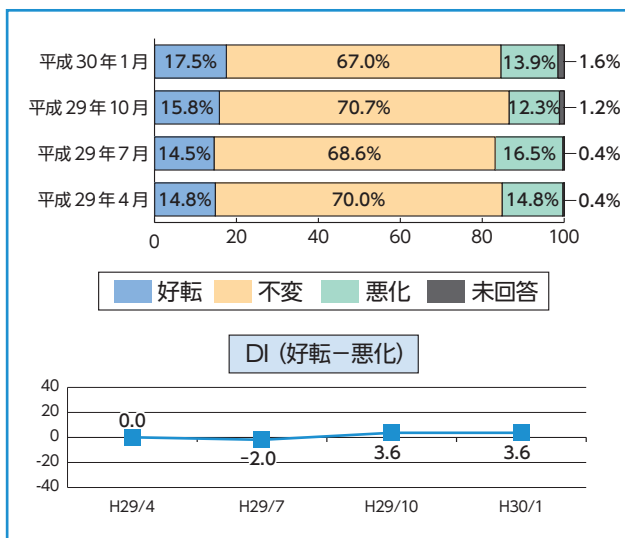
悪化回答が2.8ポイント上がる一方で好転と回答した比率は0.8ポイントのプラスにとどまり、DIは前回調査の2.8から0.8に下がった。好転割合が悪化割合より多かったのは「金属」「機械」「プラスチック」の3業種のみ。好転と悪化が同じ割合だったのは「輸送」「繊維」「サービス業」の3業種で、「繊維」は好転悪化ともゼロ、「サービス業」は40%で同比率だった。悪化が多かったのが「鉄鋼・非鉄」「電機」「ゴム」「ソフトウェア」「その他」「卸売・小売業」の6業種となった。



## 採算状況

### DI 変わらず

好転と回答した企業の割合が1.7ポイント上昇し17.5%となった。悪化と回答した企業も1.6ポイント上昇してDIは3.6と前回と同水準だった。好転が多かった業種は「鉄鋼・非鉄」「金属」「機械」「プラスチック」の4業種で、「プラスチック」は悪化回答がゼロ。悪化が好転より多かったのは「電機」「ゴム」「繊維」「ソフトウェア」「その他」「卸売・小売業」で、中でも「ゴム」「繊維」「ソフトウェア」は好転回答がゼロだった。「輸送」「サービス業」は好転と悪化が同じ割合で「輸送」14%、「サービス」20%となっている。



## 操業度 (ソフトウェア、卸売・小売業、サービス業は除く)

### DI 下降

上昇回答が1.7ポイント下がって31.3%になり、下降回答は3.3ポイント上がって12.1%になった。DIは前回の24.2から下がって19.2。対象9業種のうち「ゴム」のみが下降割合が上昇を上回り、上昇17%、下降50%だった。上昇が上回ったのが「鉄鋼・非鉄」「金属」「機械」「電機」「輸送」「プラスチック」「繊維」の7業種で、特に「プラスチック」は上昇56%に対して下降6%となっている。「その他」は上昇、下降とも13%だった。

